

補正 予算

ハザードマップ 作成費

477万円

水防法の改正に伴って町のハザードマップを作成する委託費を新たに計上。

今回作成するマップは、

降雨量による河川の水位を予測して退避場所を周知するもので、1級河川を対象にし木曾川の荒神橋、川合、黒川の芝原、黒川渡、末川の大屋、鱒淵の間を作るものです。

定住促進住宅 建設工事費

1,330万円

下志水に建設を予定している定住促進住宅1棟2戸建てを、単身入居者の需要が多いことから、1棟3戸

建てに変更して入居者の要望に応えようとするものです。

「木曾福島老人憩いの家」の管理費

40万円

8月1日から憩いの家の管理を、委託から指定管理者に変更することになり、管理委託料147万3千円

が必要となるが、当初予算で計上していた委託経費と差し引きをした結果、増額となったものです。指定管理者はNPO法人「笑顔」にお願いすることにしました。なお、通所介護サービス・介護予防・

子育て支援も同じ場所でおこなわれますので、利用者の増加が期待されております。

ひよし診療所 運営費

167万円

胃カメラの更新、屋根の修理などに追加されました。死亡原因のトップであるガンの征圧に必要な早期発見に大きな期待が寄せられるところです。



建設中の低コストハウス

16万円が交付されます。(町の負担は0)補助率は2分の1以下となっています。尚、この事業は平成20年度から21年度の2ヶ年に掛けておこなわれます。

6月議会トピックス

木曾町三岳小 島地籍に、建設します。事業内容は、予定地面積3千900㎡に、低コストビニールハウス3棟を建設する計画です。平成20年度は栽培施設及び管理棟建設に3千

木曾町三岳に JA生産施設建設

3,026万円

【強い農業づくり事業】 JA木曾では、新規事業として花き生産「アルストロメリア」の生産施設を、

開田高原発 おんたけ有機構想実現に

5,650万円

【農山村活性化 プロジェクト事業】

一昨年より開田高原の住民が立ち上げた「おんたけ有機構想実現準備会」により進められてきた計画に対し、農水省の農山村活性化プロジェクトの交付金交付が決定し、本定例議会で20年度予算に組み込まれました。(町の負担は0)

本構想では開田高原にある潜在、顕在資源を活用し、農産物のブランド化推進や農産物加工センター、ファーマーズマーケットの運営をしていくことになっています。

将来はバイオプラントの建設、運営も視野に入れており、「調和」と「循環」を基本とする地域循環型社会の創造を目指しています。